

中小企業景況情報

平成22年10月～12月期実績
平成23年 1月～3月期予想

富山県商工会連合会

中小企業景況状況 平成22年10月～12月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供並びに商工会が行う経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

〔調査基準〕

1. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問調査
2. 調査時点 平成22年11月15日
3. 調査対象期間 平成22年10～12月期実績および平成23年1～3月期予想
4. 回答企業内訳および回答率

業種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地区名
製造業	32	32	100.0	朝日町・入善町
建設業	26	26	100.0	宇奈月町・上市町
小売業	37	37	100.0	富山市南・富山市北
サービス業	55	54	98.0	高岡市・小矢部市
合計	150	149	99.3	南砺市・庄川町

(注) 1. 本調査でのD・Iとはディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合と減少(低下、悪化)企業割合の差を示すものである。

産業全体

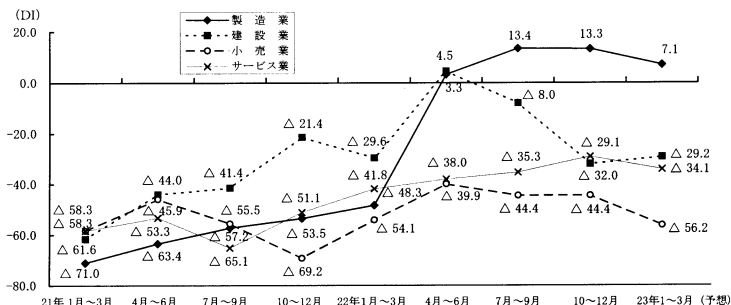
- ・業況判断(DI)は、前回調査比(9月)2.0ポイント減少し Δ 24.5となった。
- ・来期は5.3ポイント減少の Δ 29.8を予想している。
- ・売上額は前回調査比21.4ポイント減少し Δ 33.1となった。また、来期は Δ 38.1と悪化を予想している。
- ・採算は前回調査比1.8ポイント上昇し Δ 29.7となった。また、来期は Δ 33.1と悪化を予想している。
- ・資金繰りは前回調査比0.5ポイント上昇し Δ 16.8となった。また、来期は Δ 19.1と悪化を予想している。

1. 業況判断D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、サービス業で好転、製造業・小売業が横這い、建設業で悪化した〕

今期は、前期よりサービス業△29.1（+6.2ポイント）と好転し、製造業13.3、小売業44.4と横這い、建設業△32.0（-24.0ポイント）と悪化した。

来期は、建設業△29.2（+2.8ポイント）と好転を、製造業7.1（-6.2ポイント）、小売業△56.2（-11.8ポイント）、サービス業△34.1（-5.0ポイント）で悪化を予想している。

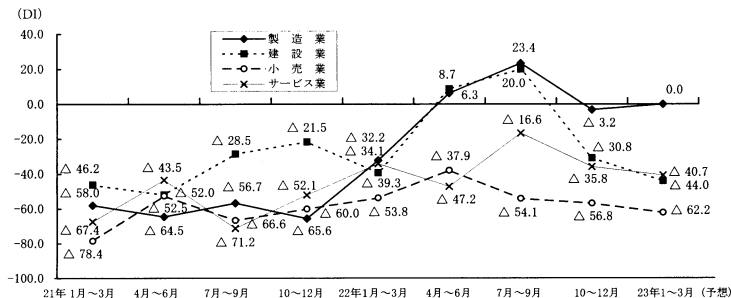


2. 売上額D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、すべての業種で悪化した〕

今期は、前期より製造業△3.2（-26.6ポイント）、建設業△30.8（-50.8ポイント）、小売業△56.8（-2.7ポイント）、サービス業△35.8（-19.2ポイント）と全ての業種で悪化した。

来期は、製造業△0.0（+3.2ポイント）と好転を、建設業△44.0（-13.2ポイント）、小売業△62.2（-5.4ポイント）、サービス業△40.7（-4.9ポイント）で悪化を予想している。

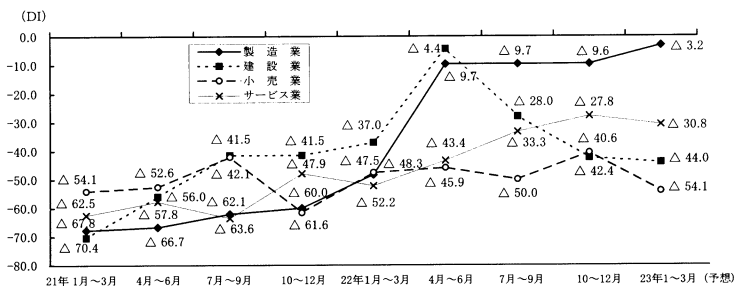


3. 採算D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、小売業・サービス業は好転、製造業は横這い、建設業で悪化した〕

今期は、前期より小売業 $\Delta 40.6$ （+9.4ポイント）、サービス業 $\Delta 27.8$ （+5.5ポイント）は好転し、製造業 $\Delta 9.6$ と横這い、建設業 $\Delta 42.4$ （-14.4ポイント）と悪化した。

来期は、製造業 $\Delta 3.2$ （-6.4ポイント）で好転を、建設業 $\Delta 44.0$ （-1.6ポイント）、小売業 $\Delta 54.1$ （-13.5ポイント）、サービス業 $\Delta 30.8$ （-3.0ポイント）で悪化を予想している。

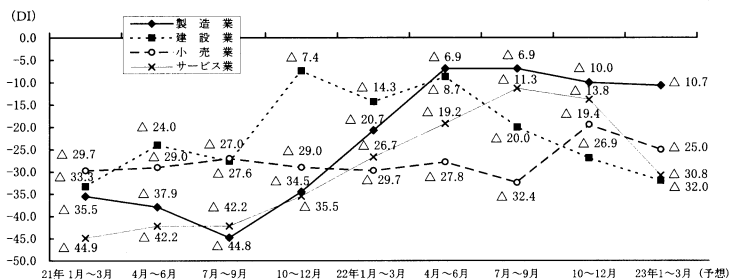


4. 資金繰りD・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、小売業で好転、製造業・建設業・サービス業で悪化〕

今期は、前期より小売業 $\Delta 19.4$ （+13.0ポイント）で好転、製造業 $\Delta 10.0$ （-3.1ポイント）、建設業 $\Delta 26.9$ （-6.9ポイント）、サービス業 $\Delta 13.8$ （-2.5ポイント）と悪化した。

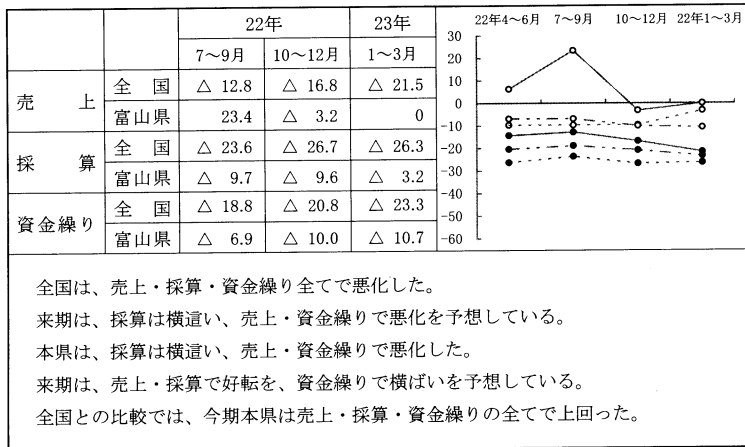
来期は、製造業 $\Delta 10.7$ と横這い、建設業 $\Delta 32.0$ （-5.1ポイント）、小売業 $\Delta 25.0$ （-5.6ポイント）、サービス業 $\Delta 30.8$ （-17.0ポイント）と悪化を予想している。



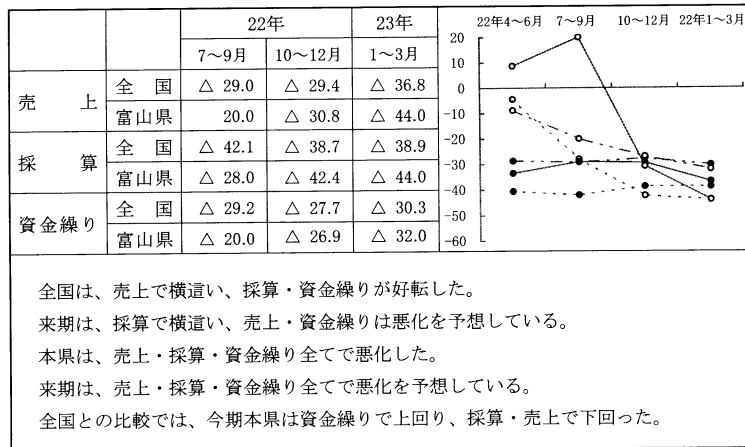
D I 値による全国動向との対比

全国	—●— 売上	-●- 採算	-○- 資金繰り
富山県	—○— 売上	-●- 採算	-○- 資金繰り

製 造 業 (前年同期比D・I)



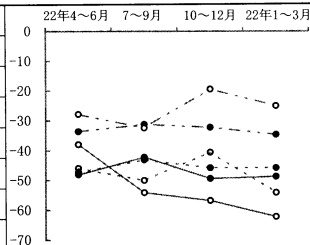
建 設 業 (前年同期比D・I)



全国	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○
富山県	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●

小 売 業 (前年同期比D・I)

		22年		23年	22年4～6月	7～9月	10～12月	22年1～3月
		7～9月	10～12月	1～3月				
売 上	全 国	△ 42.2	△ 49.4	△ 48.7				
	富山県	△ 54.1	△ 56.8	△ 62.2				
採 算	全 国	△ 43.1	△ 45.8	△ 45.8				
	富山県	△ 50.0	△ 40.6	△ 54.1				
資金繰り	全 国	△ 31.2	△ 32.2	△ 34.6				
	富山県	△ 32.4	△ 19.4	△ 25.0				



全国は、売上・採算・資金繰り全てで悪化した。

来期は、売上で好転、採算で横這い、資金繰りで悪化を予想している。

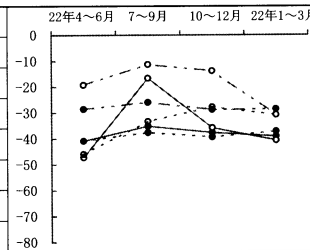
本県は、採算・資金繰りで好転、売上で悪化した。

来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。

全国との比較では、今期本県は、採算・資金繰りで上回り、売上で下回った。

サ ー ビ ス 業 (前年同期比D・I)

		22年		23年	22年4～6月	7～9月	10～12月	22年1～3月
		7～9月	10～12月	1～3月				
売 上	全 国	△ 35.2	△ 37.7	△ 39.1				
	富山県	△ 16.6	△ 35.8	△ 40.7				
採 算	全 国	△ 37.6	△ 39.4	△ 37.2				
	富山県	△ 33.3	△ 27.8	△ 30.8				
資金繰り	全 国	△ 25.9	△ 28.8	△ 28.6				
	富山県	△ 11.3	△ 13.8	△ 30.8				



全国では、売上・採算・資金繰り全てで悪化した。

来期は、採算で好転、資金繰りで横這い、売上で悪化を予想している。

本県は、採算で好転、売上・資金繰りで悪化した。

来期は、売上・採算・資金繰りの全てで悪化を予想している。

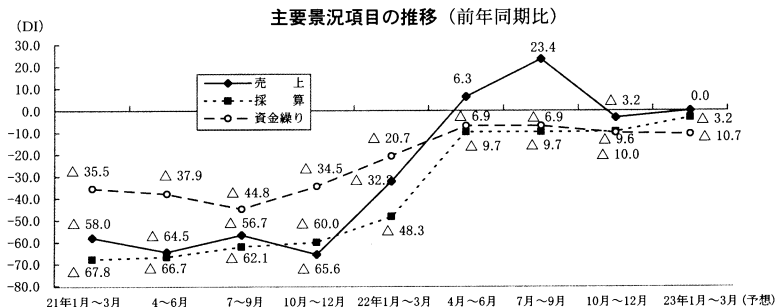
全国との比較では、今期本県は、売上・採算・資金繰り全てで上回った。

製 造 業

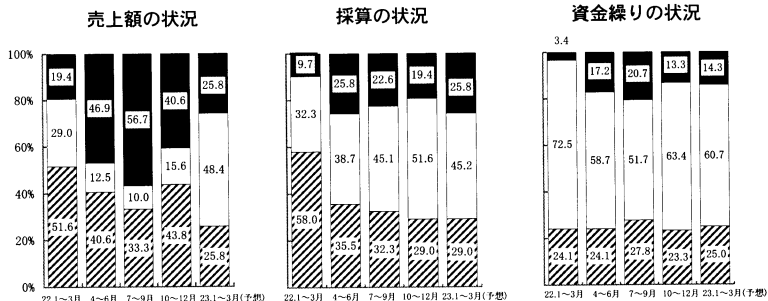
1. 主要景況項目の動向

業況D Iは前回調査比13.3で、売上は26.6ポイント、資金繰りは3.1ポイントそれぞれ減少し、採算は横這いであった。

来期は、売上・採算で好転、資金繰りで横這いを予想している。

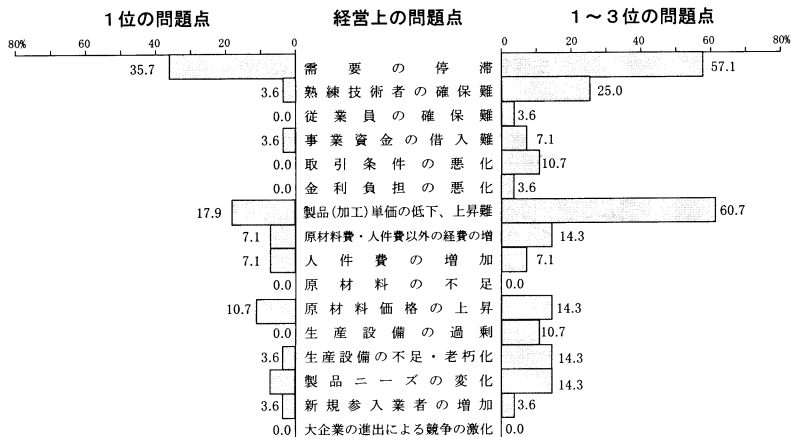


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」(35.7%) ②「製品(加工)単価の低下・上昇難」(17.9%) ③「原材料価格の上昇」(10.7%)。これを1位～3位までの合計で見ると、①「製品(加工)単価の低下・上昇難」(60.7%) ②「需要の停滞」(57.1%) ③「熟練技術者の確保」(25.0%)の順となった。

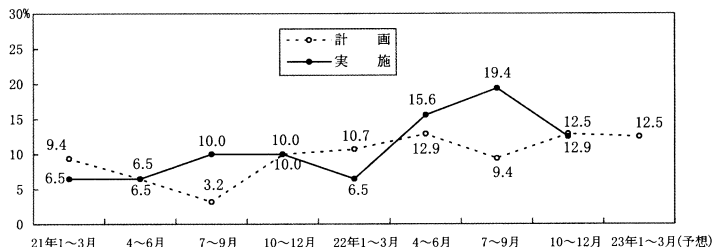


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比6.9ポイント減少し12.5%となった。投資内容は生産設備、OA機器となっている。

来期計画は、0.4ポイント上昇し12.5%となっている。投資内容は生産設備、車両運搬具となっている。

設備投資計画及び実施状況



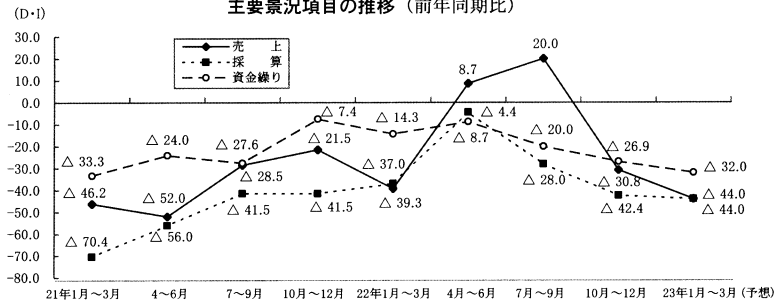
建設業

1. 主要景況項目の動向

業況D Iは前回調査比24.0ポイント減少し△32.0、売上は50.8ポイント、採算は14.4ポイント、資金繰りは6.9ポイントそれぞれ減少した。

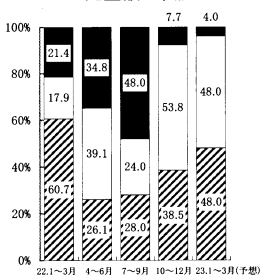
来期は、売上・採算・資金繰りの全てで悪化を予想している。

主要景況項目の推移（前年同期比）

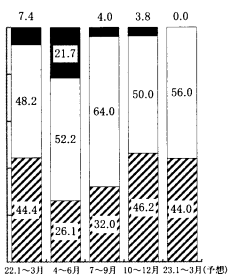


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化

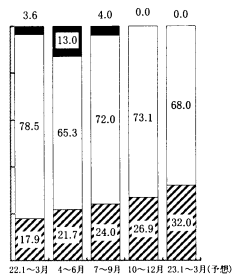
売上額の状況



採算の状況

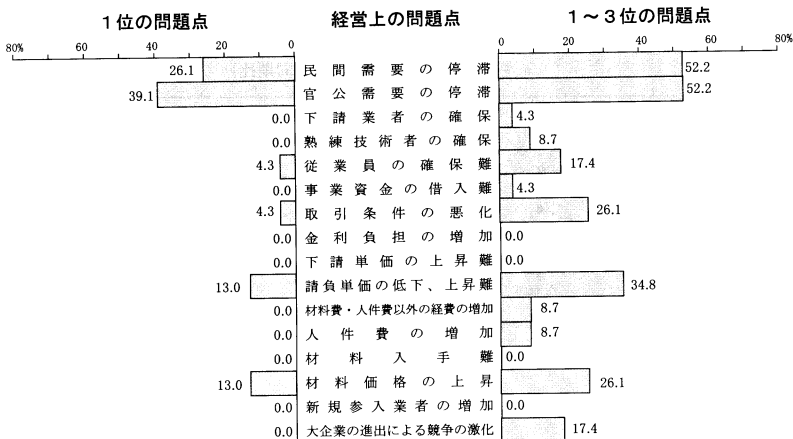


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「官公需要の停滞」(39.1%) ②「民間需要の停滞」(26.1%) ③「請負単価の低下、上昇難等」(13.0%)となった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」(52.2%) ③「請負単価の低下・上昇難」(34.8%)の順となった。「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」「請負単価の低下、上昇難」が上位に定着してきている。

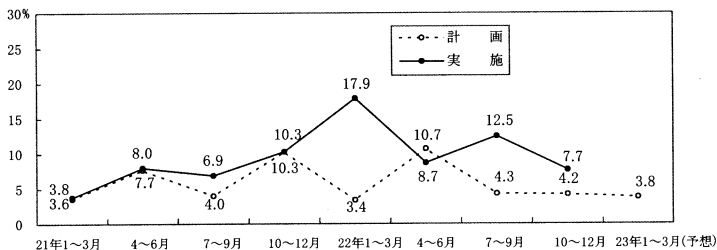


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比 4.8 ポイント減少し 7.7%となった。投資内容は建設機械、車両運搬具となっている。

来期計画は、0.4 ポイント減少し 3.8%となっている。投資内容は建設機械となっている。

設備投資計画及び実施状況

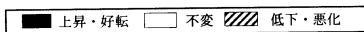
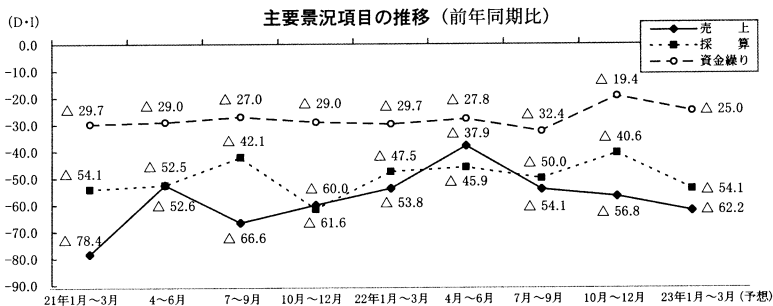


小 売 業

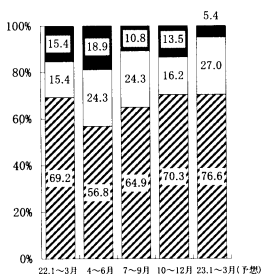
1. 主要景況項目の動向

業況DIは前回調査比横這いの△44.4、採算は9.4ポイント、資金繰りは13.0ポイントそれぞれ上昇し、売上は2.7ポイント減少した。

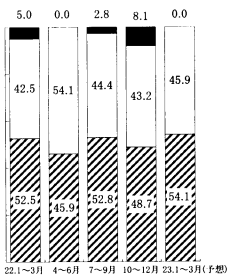
来期は、売上・採算・資金繰りの全てで悪化を予想している。



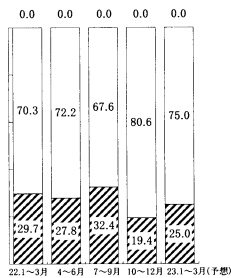
売上額の状況



採算の状況

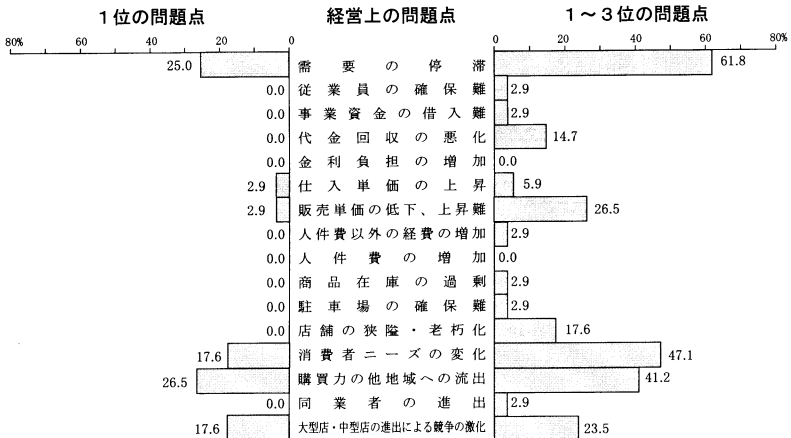


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「購買力の他地域への流出」(26.5%) ②「需要の停滞」(25.0%) ③「大型・中型店進出による競争の激化等」(17.6%)となった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「需要の停滞」(61.8%) ②「消費者ニーズの変化」(47.1%)、③「購買力の他地域への流出」(41.2%)の順となった。前期までは「需要の停滞」が問題点のトップであったが、今期は「購買力の他地域への流出」が上位に入ってきた。

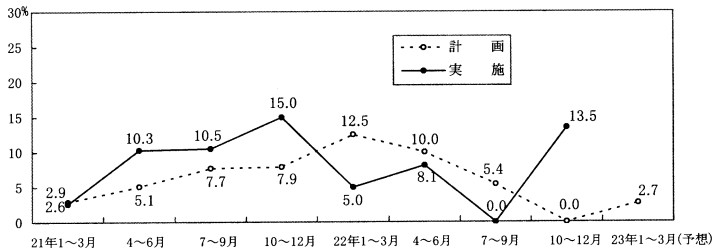


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比 13.5 ポイント上昇し 13.5%となった。設備内容は、車両運搬具、販売設備となっている。

来期計画は、2.7 ポイント上昇し 2.7%となっている。投資内容は車両運搬具となっている。

設備投資計画及び実施状況

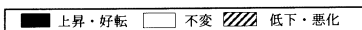
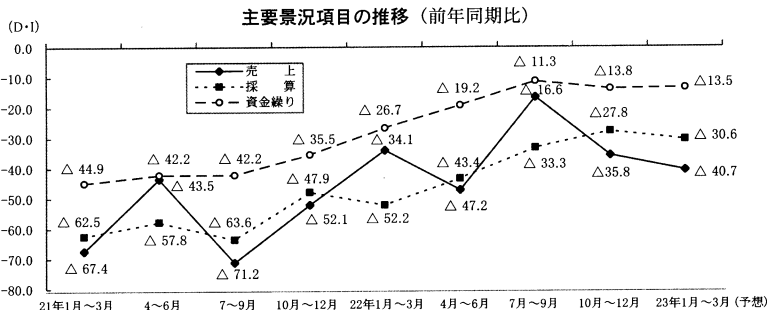


サービス業

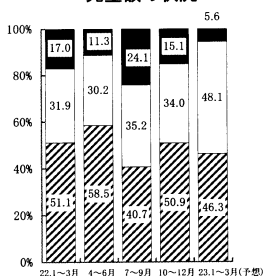
1. 主要景況項目の動向

業況DIは前回調査比6.2ポイント上昇し△29.1、採算は5.5ポイント上昇し、売上は19.2ポイント、資金繰りは2.5ポイントそれぞれ減少した。

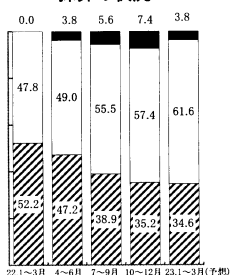
来期は、資金繰りで横這い、売上・採算は悪化を予想している。



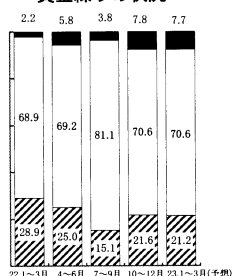
売上額の状況



採算の状況

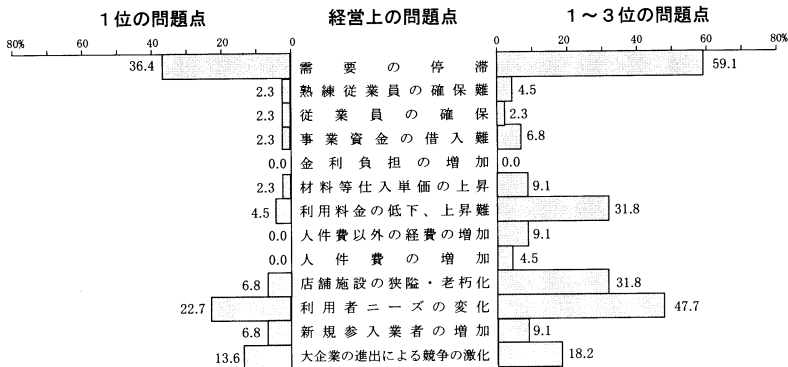


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」(36.4%) ②「利用者ニーズの変化」(22.7%) ③「大企業の進出による競争の激化」(13.6%) となった。これを1位～3位までの合計でみると、①「需要の停滞」(59.1%) ②「利用者ニーズの変化」(47.7%) ③「利用料金の低下、上昇難等」(31.8%) の順となった。「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」が毎期上位に定着してきている。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、1.8ポイント減少し9.3%となった。設備内容は、車両・運搬具、サービス設備となっている。

来期計画は、1.8ポイント上昇し3.7%となっている。投資内容は、車両運搬具、建物となっている。

設備投資計画及び実施状況

